

令和6年度 看護師負担軽減処遇改善推進委員会

2025/5/3

現状・問題	対応方針	令和6年度目標	具体的な計画	評価
適正な勤怠管理の継続	始業前・終業後の勤怠管理の徹底	適正な勤務管理により不要な超過勤務が削減される	①事前命令・事後確認の徹底 ②勤怠管理システムによる確認の徹底 ③定期的に看護部長室での確認・指導	継続 継続 継続
年休取得日数に偏りがある	年休取得率向上	令和5年度取得日数より増加	①リフレッシュ休暇・年休取得の促進 ②定期的に看護部長室での確認・指導	継続 継続
看護師業務以外の業務が多い	多職種へのタスクシフト	多職種との連携による業務軽減	【看護補助者】 看護補助者へのタスクシフトを進め、モチベーション維持に努める ①タスクシフト業務の拡大およびタスクシフトした業務の評価 ②チームの一員としてモチベーションを維持する	継続 継続
			【薬剤部】 入院持参薬の薬袋作成について、R5年度は十分に周知されていなかったため、運用と申請書式を再考し運用する	継続
			【検査科】 ① 出張細胞診処理の対応診療科拡大 ② 外来輸血実施患者の前日血液製剤準備 ③ 生理検査中の輸液ポンプ対応（継続）	完了 完了 完了
			【リハビリ】 排痰困難患者の吸引について、異動者および既卒、新卒のスタッフが行えるよう指導し、引き続き看護師業務の負担軽減を図っていく。	継続
			【放射線】 造影剤等の注射についての告示研修修了者9名、院内研修終了5名、認定4名 残りの4名についても今後研修を行う予定。	継続
			【栄養】 食事調整後の食事オーダーの代行入力を行う。	継続